

京都市小学校教科書選定委員会 答申

地図について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。
- 3 児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。
- 4 全図と部分図の関連及び基礎的・初歩的指導について配慮されていること。
- 5 資料が新しく適切に表現されているとともに必要に応じて選択、活用しやすいよう工夫されていること。
- 6 単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 7 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 8 表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

地図

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい地図帳」

方位、地図記号、凡例、縮尺、索引の使い方など、地図の活用に必要な知識が示されている。地図帳の使い方においては、凡例と索引が2ページにまとめられているため、見開きページとしてはやや情報量が多く、資料と資料の間の余白も狭い。歴史のできごとと関連付けて当時の地図を示すなど、地図とともに日本の自然、産業、貿易、歴史、文化、災害などに関する資料を掲載するページが設けられ、地理的視点とあわせて、様々な視点で日本の今を捉えることができるよう工夫されている。

各ページの「マップでジャンプ」のコーナーでは、「栽培が盛んな果物を地図から探し出そう。」「鉄道線を指でなぞろう。また、おおよその距離をはかろう。」など、地図から情報を読み取ったり、調べたりする活動を促す問いが設定され、探究意欲を喚起する手立てとなっている。

見開き3ページで示された「日本の自然災害」では、過去に発生した災害の場所や規模、被害状況を示すとともに、南三陸町のハザードマップや自然災害伝承碑を示し、自然災害に備えて避難場所を確認することの重要性を示すなど、実生活に即した活動を促すよう、工夫されている。

地図についての理解を促すために、地上・斜め上・真上のイラストを順に示し、地図になるまでを見開き2ページで具体的に示しているが、例示されているまちの様子が細かいため、地図のよさを捉えることが難しく、3年生からの活用への配慮が弱い。わが国の領土については、見開きの日本列島の地図で、日本の領土、領海、領空、排他的経済水域の範囲を示すとともに、東西南北端の各島については、写真で詳しく示している。

全体的に色が濃く、トーンも暗いため、文字や地図記号等が読み取りにくい。また、土地利用で色分けされたページと土地の高さで色分けされたページがあるため、どちらを示した地図なのか判別が難しく、また土地利用と土地の高低を関連付けて地図を活用するための配慮が弱い。

主な国名や特産物に英語表記を付記したり、日本の特色ある料理や世界のいろいろな料理を紹介したり、「日本の歴史と世界とのかかわり」のページでは、日本の歴史を学びながら世界の様子を知ることができるとともに、日本の領土・領域の変遷を示すなど、各教科の学習との関連が示され、工夫されている。

■帝国書院「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」

方位、地図記号、土地利用、凡例、縮尺、索引の使い方など、地図の活用に必要な知識が具体的に地図とともに手順も含めて丁寧に見やすくまとめられ、併せて大切な用語が文中に太字で示されており、基礎的・基本的な知識・技能を習得しやすいようよく工夫されている。また、日本の地理的環境と自然災害との関係や備えなど、地図とともに示す日本の自然、災害、産業、工業・交通、貿易、歴史などに関する資料が充実しており、地理的視点と日本の現状や社会的課題を関連付けた学

習が展開しやすく、優れている。

「地図マスターへの道」のコーナーでの、地図情報を活用した探索、調査等の活動では、児童の実態に応じた探究活動が進められるようヒントが提示されたり、他のページの地図から読み取った情報や社会科の学習内容と連動させて思考を促す問いが設定されたりすることで、地図と社会科を関連付けて思考力・判断力・表現力を培うための手立てとなっており、優れている。

「現在の東京の海岸線と、江戸の海岸線を比べてみよう。どのような違いがあるかな。」など児童が気付いたことや考えたことの交流を促す問いが設定されたり、「江戸（江戸時代後期）」の地図とともに、居住地別人口や上水道、長屋のくらしや商売の様子が示されたりするなど、歴史学習や環境教育など多様な視点で、対話的な学習を促すよう工夫されており、優れている。

地上・斜め上・真上のイラストとともに写真も活用して順に示し、地図になるまでを見開き4ページで具体的に示し、例示されているまちの様子も3年生の社会科の内容に合わせて視点を絞っているため、地図のよさも捉えやすく、優れている。また、日本の東西南北端の島々と、日本固有の領土として北方領土、竹島、尖閣諸島が写真と解説を付して同一ページ内に掲載されるなど、我が国の領土についての理解が深められるよう工夫されている。

全体的に地図の色が淡く、文字の濃さが区別しやすいため、地図も文字も読み取りやすい。また、ほぼすべての地図において土地利用と土地の高さで統一して色分けがされており、またバランスの良い色合いや立体感が感じられる表し方で、地図内の情報がたいへん読み取りやすく、優れている。

主な国名に英語表記を付記したり、「音楽の舞台となったところ」「物語の舞台となったところ」が特殊凡例として示されたり、日本の歴史上の主な出来事を示す年表に掲載されている地名や建物等に関連する地図ページを記載するなど、各教科の学習が地図と関連付けてあり、工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

地図

観点別・視点別評価

「◎」優れている 「○」標準的 「△」やや劣る

選定の観点		選定の視点		東京書籍	帝国書院
1	基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	地図や写真、資料の充実	○	◎
		2	地図帳の使い方の提示	○	◎
2	習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。	1	探究意欲の喚起につながる工夫	○	◎
		2	多様な学習活動の提示	○	○
3	児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。	1	探究意欲を高め、主体的・対話的に学ぶための工夫	○	○
		2	発展的な学習活動を促すための工夫	○	◎
		3	ICT機器を活用するなど、個別最適な学びと協働的な学びを展開するための工夫	○	○
4	全図と部分図の関連及び基礎的・初歩的指導について配慮されていること。	1	地図を見る視点の提示	△	◎
		2	国土や領土への理解	○	○
5	資料が新しく適切に表現されているとともに必要に応じて選択、活用しやすいよう工夫されていること。	1	資料の新しさや詳しさ	○	○
		2	地図や資料の見やすさや分かりやすさ	△	◎
6	単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1	他教科や教育課題等との関連	○	○
		2	家庭・地域との連携	○	○
7	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	人権教育の推進	△	○
		2	道徳教育の推進	○	○
8	表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文章や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	△	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○

【地図】観点別資料

【選定の観点1】

基礎的・基本的な知識・技能の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○折込み仕様となっている3ページ分の見開きで世界全図、日本列島全図、東北地方、日本の自然災害などの地図や資料が掲載されており、世界や日本、地方の広がりや様相を実感することができ、工夫されている。例えば歴史のできごとと関連付けて当時の地図を示すなど、地図とともに日本の自然、産業、貿易、歴史、文化、災害などに関する資料を掲載するページが設けられ、地理的視点とあわせて、様々な視点で日本の今を捉えることができるよう工夫されている。</p> <p>○方位、地図記号、凡例、縮尺、索引の使い方など、地図の活用に必要な知識が示されている。地図帳の使い方においては、凡例と索引が2ページにまとめられているため、見開きページとしてはやや情報量が多く、資料と資料の間の余白も狭い。</p>	<p>○折込み仕様となっている3ページ分の見開きで世界全図、日本列島全図、東北地方などの地図や資料、日本の地方ごとの地図が掲載されており、世界や日本、地方の広がりや様相、概観を実感することができる。例えば日本の地理的環境と自然災害との関係や備えなど、地図とともに示す日本の自然、災害、産業、工業・交通、貿易、歴史などに関する資料が充実しており、地理的視点と日本の現状や社会的課題を関連付けた学習が展開しやすく、優れている。</p> <p>○方位、地図記号、土地利用、凡例、縮尺、索引の使い方など、地図の活用に必要な知識が具体の地図とともに手順も含めて丁寧に見やすくまとめられ、併せて大切な用語が文中に太字で示されており、基礎的・基本的な知識・技能を習得しやすいよう工夫されており、優れている。</p>

【選定の観点2】

習得した知識・技能を活用した問題発見・解決的な学習や豊かな言語活動が展開しやすいなど、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう工夫・配慮されていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○各ページの「マップでジャンプ」のコーナーでは、「栽培が盛んな果物を地図から探し出そう。」「鉄道線を指でなぞろう。また、おおよその距離をはかろう。」など、地図から情報を読み取ったり、調べたりする活動を促す問いが設定され、探究意欲を喚起する手立てとなっており、工夫されている。</p> <p>○各ページの「マップでジャンプ」のコーナーでは、「じゃがいもの記号が多い平野はどこかな。また、じゃがいも栽培が盛んな理由を答えよう。」など、地図から読み取った情報や既習事項を生かして思考を促す問いが設定されており、地図を活用して思考力・判断力・表現力を培う手立てとなっており、工夫されている。</p>	<p>○各ページの「地図マスターへの道」のコーナーでの、地図情報を活用した探索、調査等の活動では、「中国地方で一番高い山は何メートルかな。」「中国地方の県庁のある都市で、人口が最も多いのはどこかな。」など、児童の実態に応じた探究活動が進められるようヒントが提示されるなど、優れている。</p> <p>○各ページの「地図マスターへの道」のコーナーでは、「製油の記号が海沿いに多い理由を○○ページなどから説明してみよう。」(5年生工業)など、他のページの地図から読み取った情報や示された社会科の学習内容と連動させて思考を促す問いが設定され、地図と社会科を関連付けて思考力・判断力・表現力を培うための手立てとなっており、工夫されている。</p>

【選定の観点3】

児童が主体的・対話的に学ぶことができるよう、探究意欲を高める工夫・配慮がなされ、さらに、学んだことを活用した発展的な学習が展開しやすいこと。また、ICT機器の活用も含め、個別最適な学びと協働的な学びを展開しやすいよう工夫・配慮されていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○各ページの「マップでジャンプ」のコーナーでは、「ある世界遺産で友だちと待ち合わせをしたよ。次に当てはまる場所はどこかな。」など、地図を活用し児童が考えを出し合ったり、教え合ったりする問いが設定され、対話的な学習を促す手立てとなるよう、工夫されている。</p> <p>○見開き3ページで示された「日本の自然災害」では、過去に発生した災害の場所や規模、被害状況を示すとともに、南三陸町のハザードマップや自然災害伝承碑を示し、自然災害に備えて避難場所を確認することの重要性を示すなど、実生活に即した活動を促すよう、工夫されている。</p> <p>○「マップでジャンプ」のコーナーの問いに対してのヒントが、キャラクターの吹き出しに示されている箇所があり、自分でヒントを基に問いを解決したり、友達とヒントを基にして相談したりするなどの学習活動を促しており、工夫されている。</p>	<p>○各ページの「地図マスターへの道」のコーナーでは、「現在の東京の海岸線と、江戸の海岸線を比べてみよう。どのような違いがあるかな。」など、地図を活用し児童が気付いたことや考えたことの交流を促す問いが設定され、対話的な学習を促す手立てとなるよう、工夫されている。</p> <p>○「江戸（江戸時代後期）」の地図とともに、江戸の町の様子と人々の暮らしに関わる資料として居住地別人口や上水道、長屋のくらしや商売の様子などが示されており、SDGsも含めた歴史学習や環境教育など多様な視点で活用できるようになっており、優れている。</p> <p>○「防災マップづくり」には、その作成の手順とともに、作成した防災マップを交流し、気付きを話し合うなどの学習活動も示され、作成や交流においてICT機器の活用も考えられ、工夫されている。</p>

【選定の観点4】

全図と部分図の関連及び基礎的・初歩的指導について配慮されていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○地図についての理解を促すために、地上・斜め上・真上のイラストを順に示し、地図になるまでを見開き2ページで具体的に示しているが、例示されているまちの様子が細かいため、地図のよさを捉えることが難しく、3年生からの活用への配慮が弱い。</p> <p>○見開きの日本列島の地図で、日本の領土、領海、領空、排他的経済水域の範囲を示すとともに、東西南北端の各島については、写真で詳しく示している。また、「南西諸島」のページに尖閣諸島、「中国地方」に竹島、日本列島全図に択捉島の写真を解説と共に掲載し、我が国の領土についての理解が深められるよう工夫されている。</p>	<p>○地図についての理解を促すために、地上・斜め上・真上のイラストとともに写真も活用して順に示し、地図になるまでを見開き4ページで具体的に示し、例示されているまちの様子も3年生の社会科の内容に合わせて視点を絞ってあるため、地図のよさも捉えやすく、3年生からの活用にも十分配慮され、優れている。</p> <p>○見開きの日本列島の地図で、日本の領土、領海、領空、排他的経済水域の範囲について示すとともに、日本の東西南北端の島々と、日本固有の領土として北方領土、竹島、尖閣諸島が写真と解説を付して同一ページ内にすべてが掲載され、我が国の領土についての理解が深められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5】

資料が新しく適切に表現されているとともに必要に応じて選択、活用しやすいよう工夫されていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○世界の主な国の統計の日本への輸出額について2020年の数値が、また日本の都道府県の統計の国宝・重要文化財の数について2022年の数値が掲載されており、内容が更新されている。</p> <p>○土地利用で色分けされたページと土地の高さで色分けされたページがあるため、どちらを示した地図なのか判別が難しく、また土地利用と土地の高低を関連付けて地図を活用するための配慮が弱い。</p>	<p>○日本の統計の面積・人口・人口密度について2021年の数値を掲載するなど、常に最新の内容に更新されている。</p> <p>○ほぼすべての地図において土地利用と土地の高さで統一して色分けがされており、またバランスの良い色合いや立体感が感じられる表し方で、地図内の情報がたいへん読み取りやすく、優れている。</p>

【選定の観点6】

単元構成の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○主な国名や特産物に英語表記を付記するなど、外国語活動や外国語科に対応している。併せて、日本の特色ある料理や世界のいろいろな料理を紹介し、家庭科の学習にも対応している。「日本の歴史と世界とのかかわり」のページでは、日本の歴史を学びながら世界の様子を知ることができるとともに、日本の領土・領域の変遷を示すなど、社会科等の学習との関連が示され、工夫されている。</p> <p>○地図には、観光地や名所などがイラストでわかりやすく示され、家庭での観光などにも活用できるよう、工夫されている。また、裏表紙に「保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○主な国名に英語表記を付記するなど、外国語活動や外国語科に対応している。また、「音楽の舞台となったところ」「物語の舞台となったところ」が特殊凡例として示され、音楽科や国語科の学習にも活用・対応できるよう、工夫している。日本の歴史上の主な出来事を示す年表に掲載されている地名や建物等については、関連する地図ページを記載している。併せて江戸時代の街道や地図を掲載し、歴史事象を地図と関連付けてあり、工夫されている。</p> <p>○地図には、観光地や名所などがイラストでわかりやすく示され、家庭での観光などにも活用できるとともに、広域防災拠点も示されており家庭での防災教育にも活用でき、工夫されている。裏表紙に「保護者の皆様へ」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>

【選定の観点7】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○世界各国の動物や料理などの写真や記述は見られるが、人々の生活の様子が分かる写真や記述が少なく、国際交流や多文化共生などの視点からの学習を進めることが難しい。</p> <p>○「日本の伝統文化」では、全国の祭りや日本の主な歴史的景観、世界文化遺産、さらに郷土料理が掲載され、我が国や郷土の伝統と文化を尊重する学習につながられるよう工夫されている。</p>	<p>○「集まれ世界の子どもたち」では、世界の子どもたちの生活や文化の様子が紹介されるとともに、「世界のSDGs」では、食料問題や環境問題など世界が抱える課題や取組を紹介し、多文化共生や持続可能な社会などの学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○「世界のSDGs」では、「バラスポーツ」「マララさん」などが取り上げられ、併せて「手話で表す都道府県」が掲載されており、人権教育の視点も意識されている。</p>

【選定の観点8】

表記や表現について、文章や写真、図表等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名	
2 東京書籍	46 帝国書院
<p>○全体的に色が濃く、トーンも暗いため、文字や地図記号等が読み取りにくい。</p> <p>○文字はUDフォントを採用している。</p> <p>○説明文などで文の意味の切れ目で改行するなど、読みやすいよう工夫している。</p> <p>○テーマごとにインデックスの位置や色を変えるなど、調べ学習がしやすくなるよう、工夫されている。</p>	<p>○全体的に地図の色が淡く、文字の濃さが区別しやすいため、地図も文字も読み取りやすい。</p> <p>○文字はUDフォントを採用している。併せて、都道府県名には「とめ・はね・はらい」が正確なUD学参フォントを使用している。</p> <p>○タイトルの位置を原則左上に固定するなど、地図帳全体で統一感をもたせている。</p> <p>○テーマごとにインデックスの位置や色を変えるなど、調べ学習がしやすくなるよう、工夫されている。</p>

※UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント、CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン